

E・H・カー著 清水幾太郎訳「歴史とは何か」岩波新書 1962年3月20日刊を読む

歴史家と事実

歴史の書物を読む時は、歴史家の頭の中のざわめきに耳を傾けた方がよろしい。何も聞き取れなかったら、あなたが聾であるか、あなたの読んでいる歴史家が愚物であるかなのです。実際、事実というのは決して魚屋の店先にある魚のようなものではありません。むしろ、事実は、広大な、時には近よることも出来ぬ海の中を泳ぎ廻っている魚のようなもので、歴史家が何を捕えるかは、偶然にもよりますけれども、多くは彼が海のどの辺で釣りをするか、どんな釣道具を使うか——もちろん、この二つの要素は彼が捕えようとする魚の種類によって決定されますが——によるのです。全体として、歴史家は、自分の好む事実を手に入れようとするものです。歴史とは解釈のことです。

P29

[コメント]

“What is History?” (歴史とは何か)は、社会科学としての歴史を学ぶ者の多くに読み継がれている基本図書の一つ。

- 2009年3月8日林明夫記 -